

2学期は、学園祭に始まり、様々な学校行事、各部の大会等、生徒のみなさんが活躍する場面がたくさんありました。そうした機会を通して、新たなことに挑戦し、自らの成長につなげることができましたか。3年生の中には、すでに就職内定を頂いた人、推薦試験等での合格通知を受け取った人もいます。まずはおめでとうございます。これから受験に臨む仲間を応援する気持ちで、残された高校生活をきちんと送ってください。そして、これから受験に向かう人は、いよいよラストスパートです。体調管理に気をつけて、最後まであきらめず、第1志望校合格を勝ち取ってください。2年生、1年生のみなさんは、年が明ければ、それぞれ3年生0学期、2年生0学期がスタートします。気持ちも新たに、新学期を迎えてください。

最近読んだある本の中に、社会では次の5つのことが求められると書いてありました。来年4月から社会人として仕事を始める人は勿論ですが、高校生にとっても必要なことですので、紹介したいと思います。

1 夢や目標の実現に向かって努力を続けること

- みなさんの場合ですと、進路目標を実現したいとか、大会で優勝したいとかいろいろあると思います。「見ているだけのものは夢、それを口に出して言葉にした瞬間目標が変わる」という言葉があります。具体的な目標を設定し、その目標達成に向かって地道な努力を続けていくことが大切です。

2 常に反省すること

- 「反省」というと、自分の言動の良くなかった点を意識しそれを改める、という印象が強いので、個人的には「振り返り」とか「内省」という言葉のほうが良いかなと思います。1学期終業式で、みなさんに自己採点をしてもらいました。悪かった点を改善することも大切ですが、良かった点を評価することも重要です。

3 相手の立場にたって行動すること

- 中国春秋時代の思想家孔子の教えをまとめた『論語』の中に、「己の欲せざるところは人に施すことなかれ」という言葉があります。自分がしてほしいことは、人にもしてはいけない。当たり前のことです。「思いやり」とは「思いを遣る」、相手に思いをはせ、思いをおよぼす、という意味です。自分の言動が相手にどう受け止められるのか、相手はどう感じるのか、少し想像力を働かせればわかることだと思います。

4 感謝する気持ちを持っていること

- みなさんは、家族、友達、先生、地域の方々など、周囲の多くの人に支えられています。感謝の気持ちは、言葉にしてこそ初めて伝わります。最近「ありがとう」を言っていますか。

5 平凡なことをやり続けること

- 例えば、挨拶をする、時間を守るなど、なんでもないような当たり前のことを徹底的に行う。このことを四字熟語で「凡事徹底」といいます。2学期始業式で紹介した大谷翔平選手のマンガラチャートにもあいさつ、ゴミ拾い、感謝、礼儀、思いやり、といった言葉が書かれていました。また、日米野球界で様々な記録を残したイチロー選手は、高校生活の3年間、1日にたった10分、寝る前に必ず素振りをしていました。その10分の素振りを1年365日、3年間毎日欠かさず続けたそうです。1日10分の素振りの練習なら誰でも出来ると思います。しかし、それを毎日しかも3年間やり続けるとなると、なかなかできることではありません。これこそ「凡事徹底」です。

今回のお話のキーワードは、努力、反省（振り返り）、思いやり、感謝、凡事徹底です。みなさんの心の中に留め、折に触れて思い出して意識してもらえると嬉しいです。